

第1回 大塚地区

まちづくりと公共施設の将来を考えるワークショップ

日 時：令和3年8月29日（日）
午後1時30分～午後4時

主 催：蒲郡市

ZoomID：937 5246 5535

パスコード：879815

プログラム

開会	1：30
あいさつ	
事務局からの説明	1：35
・ワークショップの趣旨・目的 ・進め方とスケジュール ・蒲郡市の現状と公共施設マネジメントの取り組み ・本日の検討内容	
(休憩)	2：10
グループ討議	2：20
発表	3：35
事務連絡	3：55
閉会	4：00

<目次>

- ・ ワークショップの趣旨・目的 1
- ・ 進め方とスケジュール 2
- ・ 蒲郡市の現状と公共施設マネジメントの取り組み 7
- ・ 本日の検討内容 19
- ・ 大塚地区の公共施設の概要 20

<別冊資料>

- ・ 大塚地区 まちづくりと公共施設の将来を考えるワークショップ資料集

ワークショップの趣旨・目的

蒲江市では、急激に変動する社会情勢に対応した公共施設の機能配置や魅力向上を図るとともに、将来に大きな負担を残さない行財政運営を実現するために、公共施設マネジメントの取り組みを進めています。

これまでに市民の皆様のご意見を伺い、「蒲江市公共施設マネジメント基本方針」と「蒲江市公共施設マネジメント実施計画」を策定し、今後の公共施設の整備を進めるための道筋を示しました。

その計画では、小中学校、保育園、児童館及び公民館（地区利用型施設）の再編にあたっては、中学校区単位で住民の皆様のご意見を伺い、施設再編計画となる「地区個別計画」を策定することとしています。

このワークショップは、「蒲江市公共施設マネジメント基本方針」を踏まえ、これから起こる様々な社会の変化や地域の課題に対応した既成概念にとらわれない、より良い公共施設の配置や使い方を考えるために開催するものです。

蒲江市公共施設マネジメント基本方針

- ①適正化 将来を見据えた維持可能な施設規模に適正化します。
- ②効率化 効率的・効果的な維持管理を実施します。
- ③魅力 社会変化に対応した魅力ある公共施設へ再編します。
- ④安全性 計画的な保全により公共施設を安全に維持します。
- ⑤実行力 公共施設の再編に向けて実行体制を構築します。

市は、皆様のご意見を参考に大塚地区の「地区個別計画」を策定し、施設の再配置を進めることで、“住んでよかった”“住み続けたい”と思えるような誇りと愛着を持てるまちづくりを目指します。

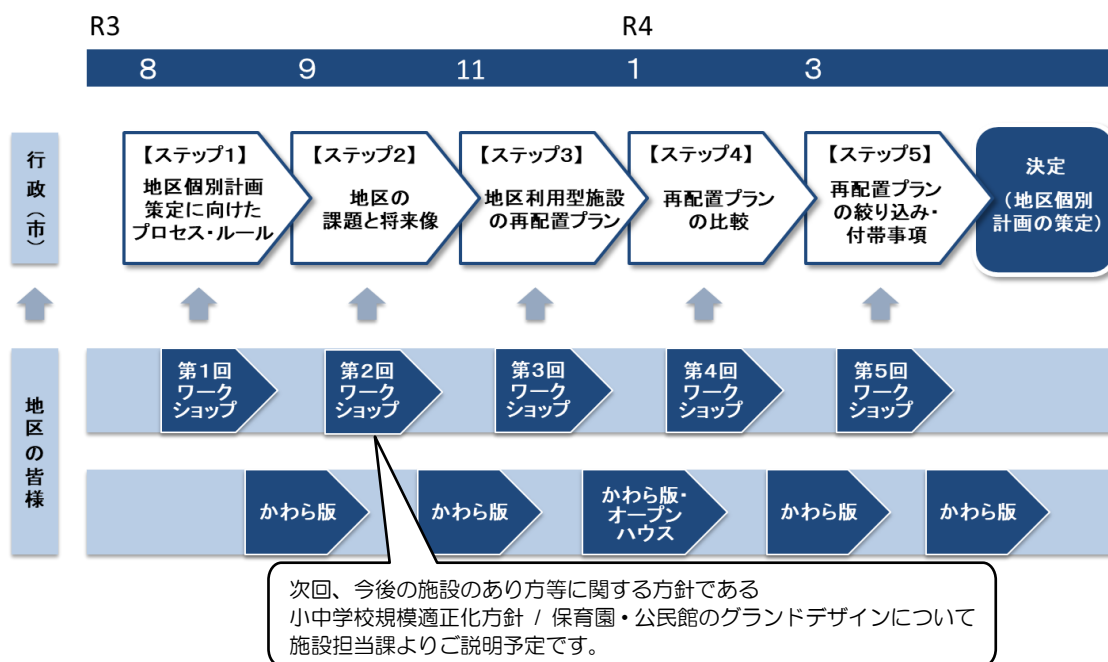
進め方とスケジュール

1 検討のステップ

市は、ワークショップ等で得られた成果をもとに、「地区個別計画」の策定に向けて次の5つのステップに分けて、段階的に検討を行います。

- ステップ1** ワークショップ等を通じ、地区個別計画をどのような手順で策定するか確認します。
- ステップ2** 地区にどのような課題があるか確認して問題意識を共有します。
- ステップ3** 課題解決に向けた方策について共有し、複数の再配置プランを検討します。更に、複数の再配置プランを比較するための評価の視点について検討します。
- ステップ4** 複数の再配置プランをステップ3で検討した視点に基づき評価し比較します。
- ステップ5** 再配置プランを絞り込むとともに、運営面での工夫等の付帯事項について整理します。

2 スケジュール（予定）



3 コミュニケーション

「地区個別計画」の策定に向けた検討では、地区の皆様と様々なコミュニケーションを進めていきます。

- ・ ワークショップ
- ・ オープンハウス（パネル展示型説明会）
- ・ かわら版



【オープンハウス（パネル展示型説明会）】

地区の住民の皆様が集まる施設などでパネルを利用し、ワークショップでのご意見や検討された再配置プランなどの内容を広報します。

どなたでも立寄ることができ、住民の皆様からワークショップで検討されている内容についてのご意見をいただきます。

今年度も新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、開催を予定しています。

【かわら版】

地区内の各世帯に配布するチラシです。各回のワークショップ終了後、広報がまごおりとともに配布を行います。ワークショップでのご意見や検討された再配置プランなどをお知らせするとともに、ワークショップで検討されている内容についてのご意見を募集します。

4 ワークショップの概要

- ワークショップは、令和4年3月までに5回開催します。
- 原則、日曜日に開催します。
- 新型コロナウイルス感染症対策のため、オンラインで開催します。ご自宅等からの参加が難しい場合は、大塚中学校にて参加できます。
- 事務局は、蒲郡市総務部公共施設マネジメント課が担当します。
- ワークショップには、公募でご応募いただいた方が参加します。
- 同じ参加者に継続してご参加いただき、議論を深めていきます。
- ワークショップでは、参加者の皆様にグループ討議で自由にご議論いただきます。
- 大塚中学校に設置された中継会場から一般の傍聴者や報道関係者が会議を傍聴することができます。

5 ワークショップの進め方

- グループ討議の運営では、円滑な議論のため、司会進行を第三者的立場のファシリテーターがお手伝いします。
- ワークショップでは、グループごとの議論を中心に進め、各回ワークショップの最後に各グループの議論の結果を発表します。
- グループ討議の議論は要点をまとめて記録します。これは個人の発言が特定されるものではありませんので、自由で前向きな議論をお願いします。
- 市に対する要望・陳情の場ではありません。
- ワークショップの様子をホームページ等で公表するなど情報発信を行います。話し合いの様子を記録する場合がありますことをご了承ください。

6 ワークショップの成果

- ワークショップでのご意見を踏まえて複数の再配置プランを評価・比較し整理します。
- 整理した内容は、市が「地区個別計画」を策定する際の基礎情報として活用します。

7 ファシリテーターのご紹介

～こんにちは。皆さんの議論を円滑に進めるために、第三者的立場から議事進行やとりまとめをお手伝いします。どうぞよろしくお願いいたします。～

なばた めぐみ
名畑 恵

NPO 法人 まちの縁側育くみ隊

ふじもり みきひと
藤森 幹人

株式会社 対話計画

かつらやま としあき
葛山 稔晃

株式会社 対話計画

いなば ひさゆき
稲葉 久之

フリーランス・ファシリテーター

- 話し合いに積極的に参加しましょう
- 自分の考えを率直に述べましょう
- 前向きな思考で発言しましょう
- 評論家ではなく当事者として関わりましょう
- 他の参加者の意見に耳を傾けましょう
- 気持ちよく運営できるよう協力しましょう
- 議論や運営に貢献する姿勢を讃えましょう

(必要があれば追加しましょう)

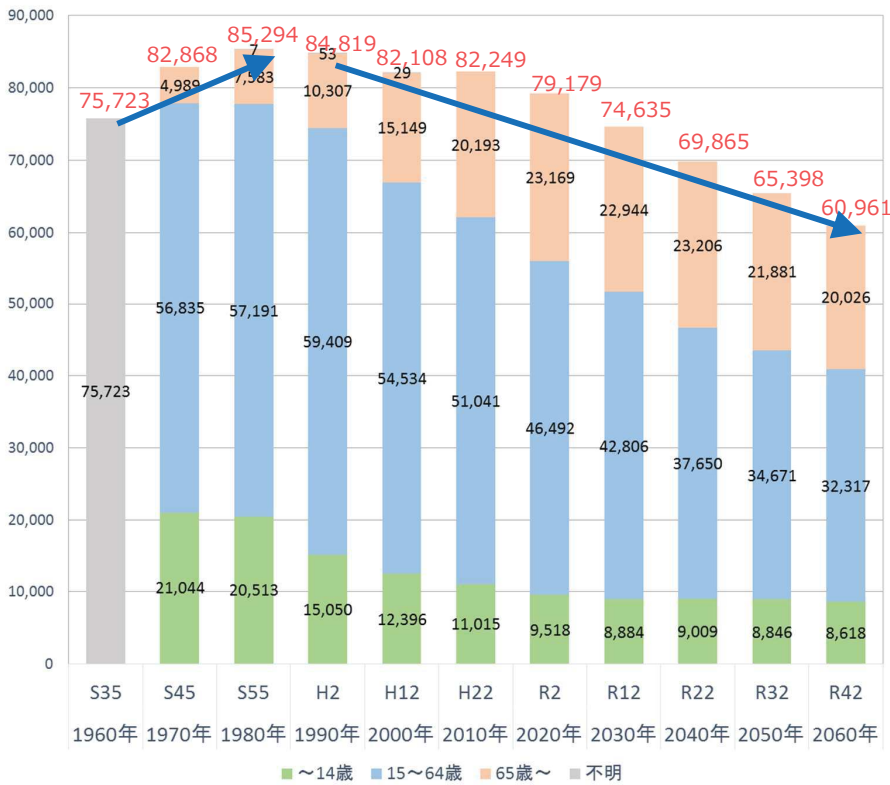


蒲郡市の現状と公共施設マネジメントの取り組み

- 
- 1 蒲郡市の現状と課題
 - 2 公共施設マネジメントの取り組み

蒲郡市の人口

蒲郡市は少子高齢化に加えて人口が転出超過傾向にあり、人口減少が一層進む見通しとなっています。



国立社会保障・人口問題研究所の2060年推計値
 57,280人
 2010年比△30%

2060年目標値
 60,961人
 2010年比△26%

2060年生産年齢人口
 目標値：32,317人 (53.0%)
 (2010年比△37%)

2060年高齢者人口
 目標値：20,026人 (32.9%)
 (2010年比24.6%)

出典：国勢調査
 蒲郡市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン
 (社人研推計値については、H30推計に基づき再計算を実施)

社会構造・ライフスタイルの変化

- 核家族化
- 高齢者世帯の増加
- 共働き世帯の増加
- 単身世帯の増加

など...



行政に求められるサービスも
 変化しています。

○ 子育て支援

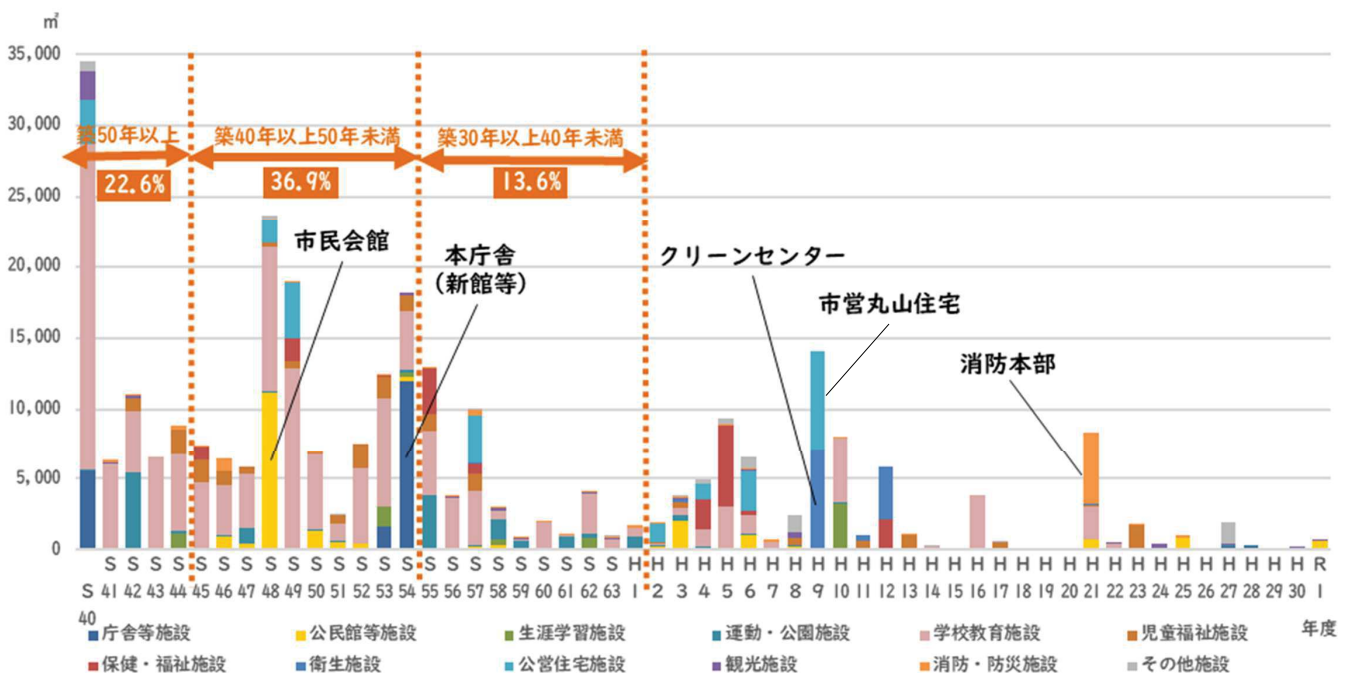
- ・ 延長保育・低年齢児保育の充実
- ・ 助け合いの仕組みづくり
- ・ 子育てに関する相談窓口の設置
- ・ 放課後の子どもの居場所づくり

○ 高齢者支援

- ・ 高齢者の居場所づくり
- ・ 見守りの体制づくり

公共施設（ハード面）においても時代のニーズに合わせた変化が必要です。

築年別整備状況（蒲郡市の公共施設）



- ・ 蒲郡市の公共施設の多くが、昭和40年代から50年代にかけて建設されました。
- ・ 築30年を超える建物が全体の約7割を占めています。

老朽化が進む公共施設



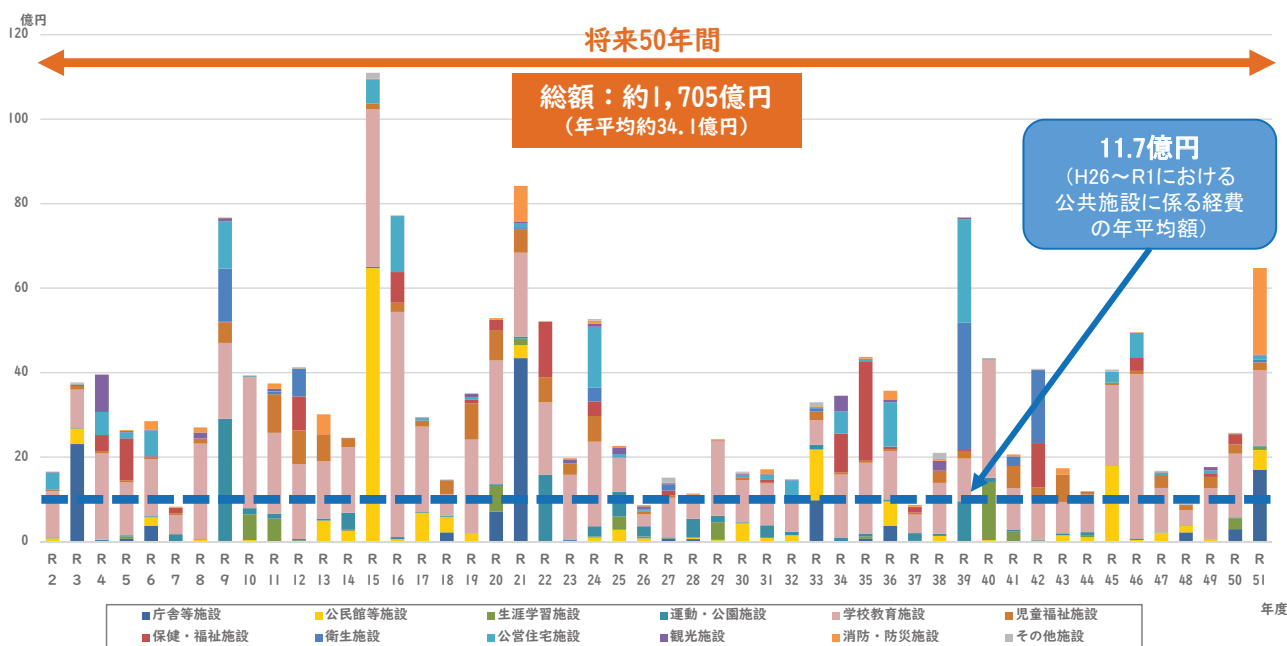
天井に開いた穴



壁に入った亀裂

- ・多くの施設で築30年以上が経過し、老朽化の進む施設が増えてきました。
- ・今後、市内の多くの施設で大規模な改修や建替えが必要になってくることが見込まれます。

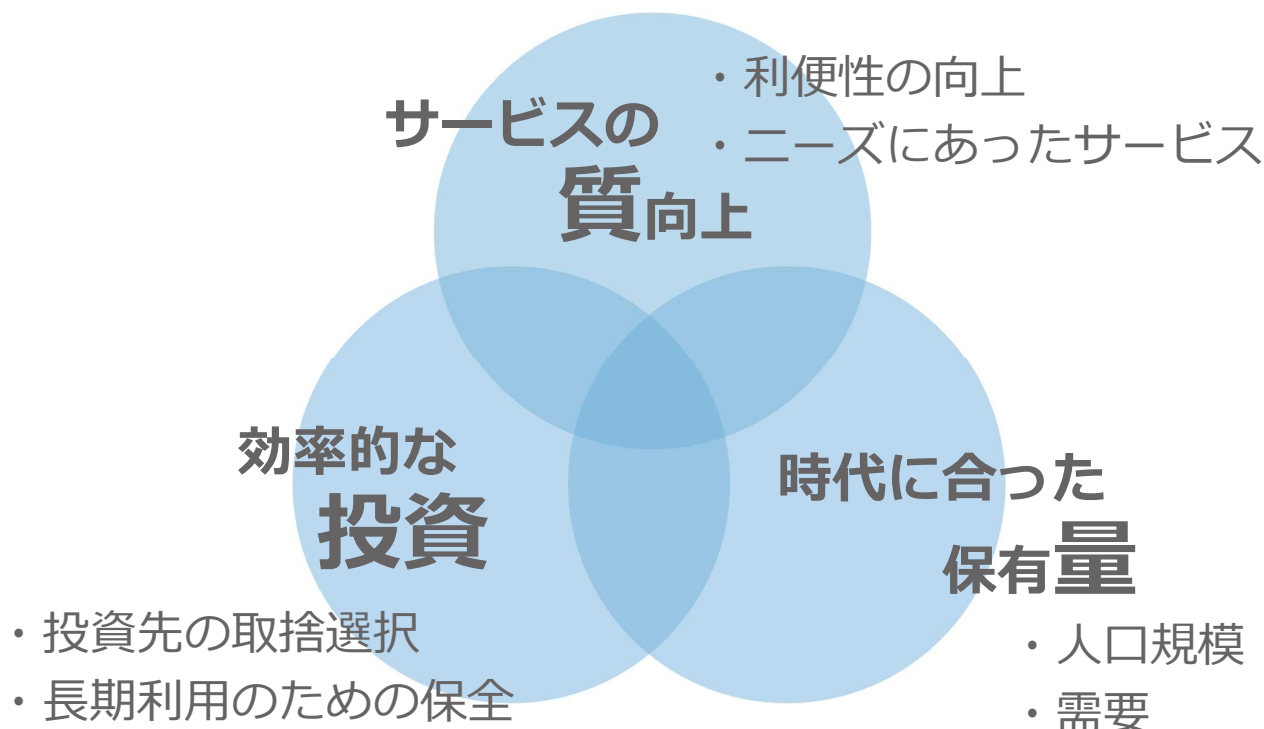
公共施設の維持更新にかかる将来費用



出典：令和2年度度蒲郡市公共施設白書

- ・ 公共施設の維持・更新にかかる費用は、将来50年間では総額約1,705億円（年平均約34.1億円）と推計されています。
- ・ 令和元年度までの6か年度において、公共施設に係る経費は1年あたり約11.7億円であり、大半の年で、公共施設の維持・更新にかかる費用が現状の公共施設に係る経費を上回っています。

公共施設マネジメントとは…



(参考) 新しい施設づくり

静岡県焼津市 東益津小学校・東益津公民館

- コミュニティ活動や世代間交流を促進する学校教育・生涯学習の拠点として整備。
- 学校施設の耐震化と公民館の建替えにあわせて2つの施設を合築。

世代間交流・地域交流の場

- 公民館で活動する高齢者との交流や地域ボランティアによる読み聞かせなどが行われている。



高齢者との交流



読み聞かせの様子

学校施設の開放

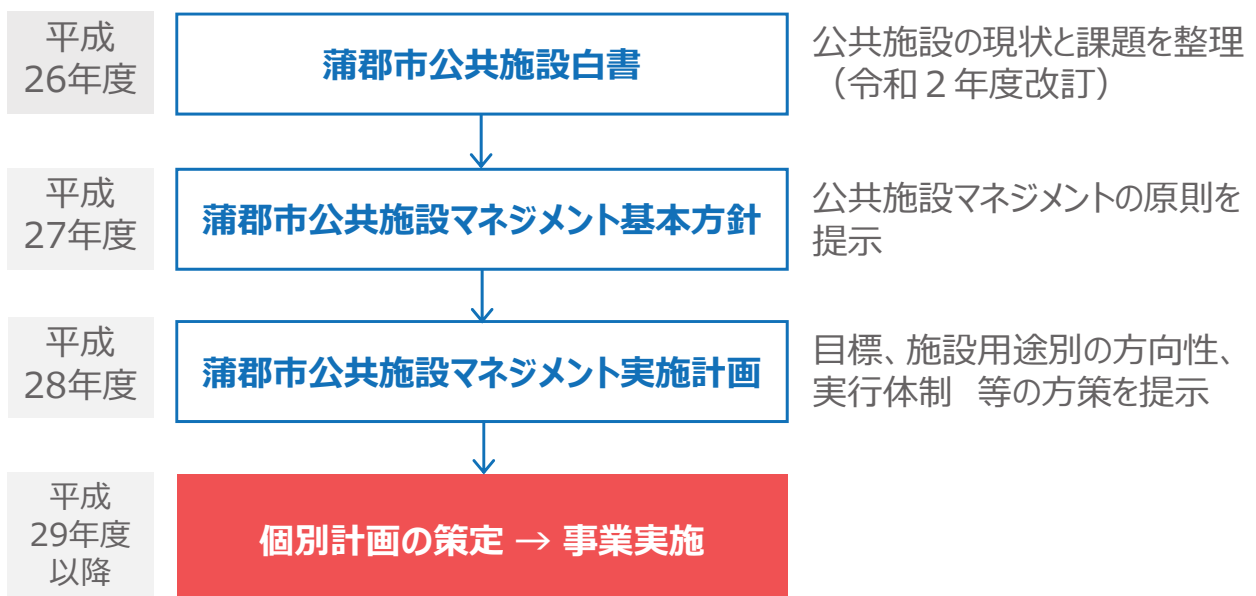
- 図書室・家庭科室等の学校施設を公民館と共有することで地域活動でも活用している。



図書室の様子

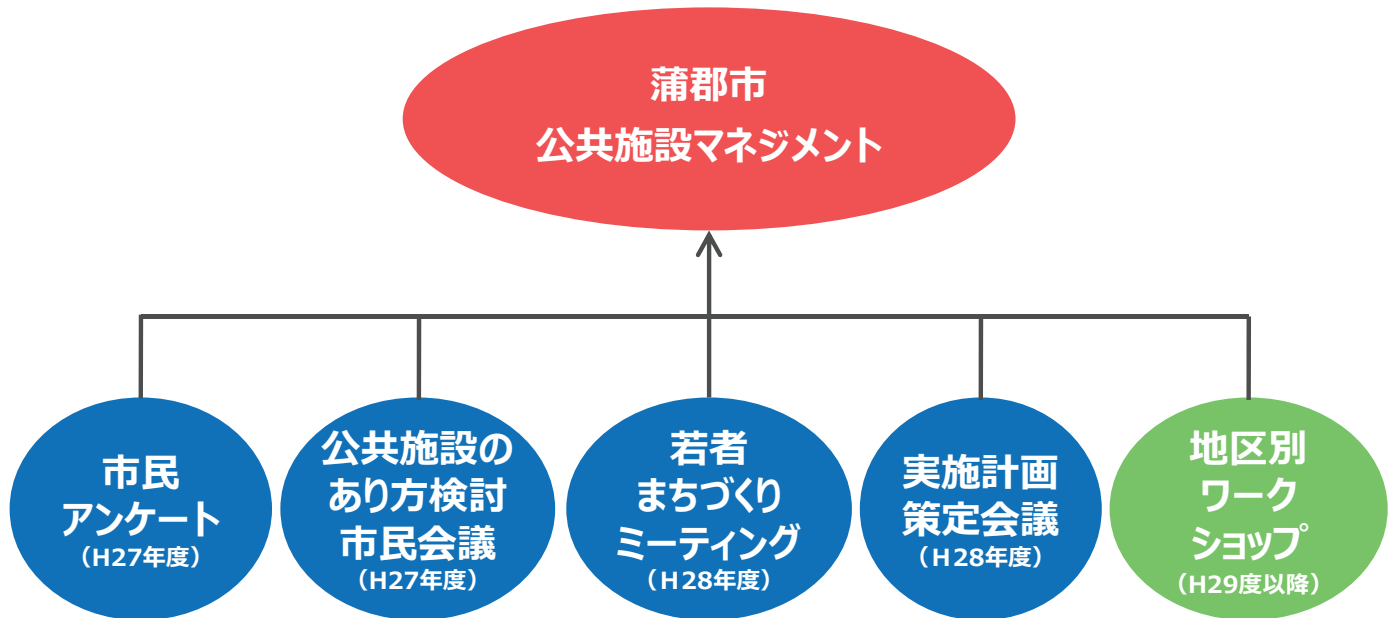
- 1 蒲郡市の現状と課題
- 2 公共施設マネジメントの取り組み

これまでと今後の取り組み



市民意見の反映

蒲郡市では、様々な方法で市民の皆様のご意見をお聴きしながら、公共施設マネジメントの取り組みを進めています。



市民との協働

公共施設のあり方検討市民会議 (H27年度)



若者まちづくりミーティング (H28年度)



公共施設マネジメント実施計画策定会議 (H28年度)



地区別ワークショップ (H29年度～)



蒲郡市公共施設マネジメント基本方針（H.28.3）

市民の皆様の意見を踏まえ、公共施設マネジメントを推進するための原則を示しました。

基本方針 5つのキーワード

適正化

将来を見据えた維持可能な施設規模に適正化します

効率化

効率的・効果的な維持管理を実施します

魅力

社会変化に対応した魅力ある公共施設へ再編します

安全性

計画的な保全により公共施設を安全に維持します

実行力

公共施設の再編にむけて実行体制を構築します

蒲郡市公共施設マネジメント実施計画（H.29.3）

公共施設マネジメントの取り組みを進めていくための方策を示しました。

計画期間

30年間

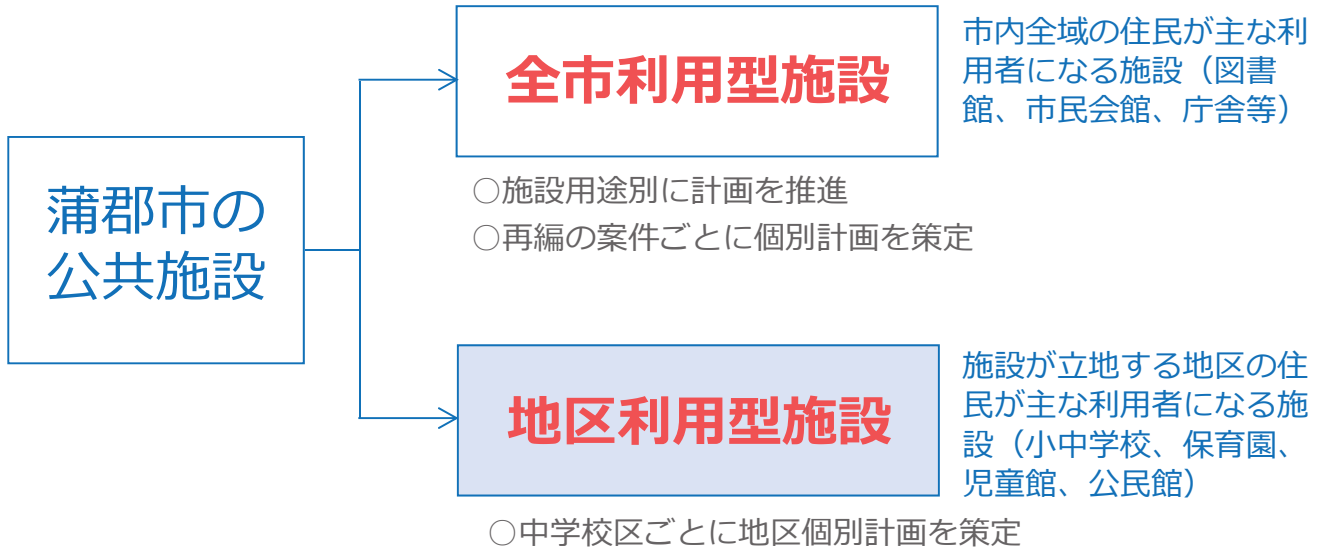
平成29年度から令和28年度（平成58年度）まで

マネジメント目標

- ① 建物の更新の際に
概ね**3割**の床面積を縮減する。
- ② 保有床面積の縮減と建物の長寿命化による費用の平準化により、
523億円の維持更新費用を縮減する。

施設の分類

本市の公共施設を**全市利用型施設**と**地区利用型施設**に分類し、適正配置を進める。

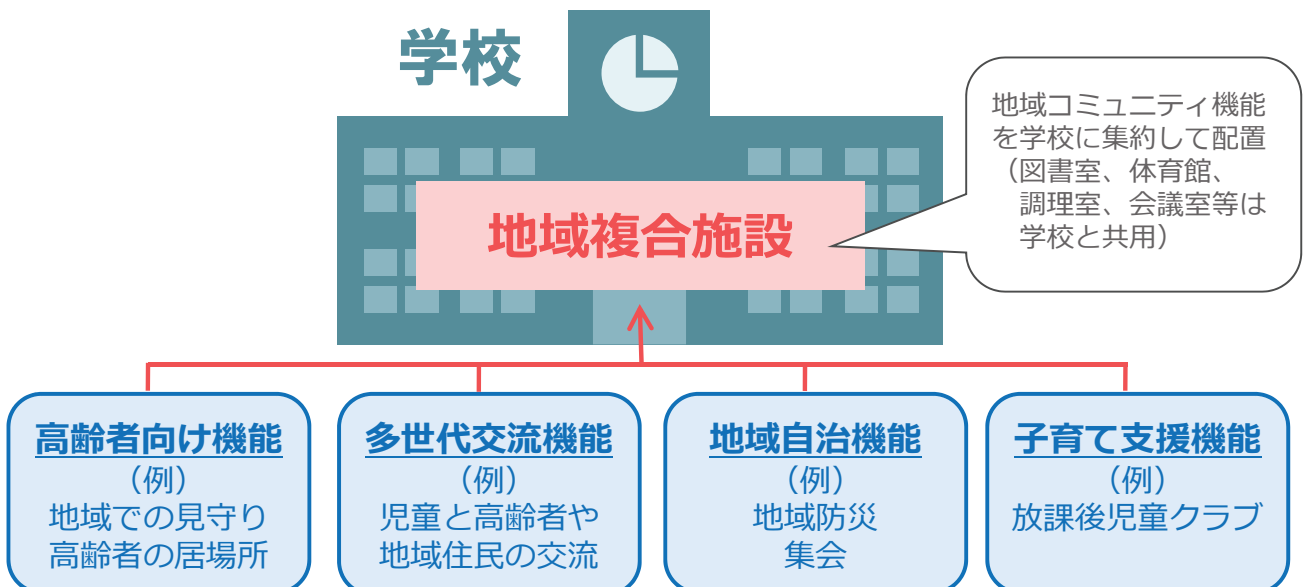


地区利用型施設についての基本的な考え方

社会の変化（人口減少・少子高齢化・共働き世帯の増加・単身世帯の増加など）に対応していくために、**地域で支え合い、助け合うことができる環境の充実**が求められています。



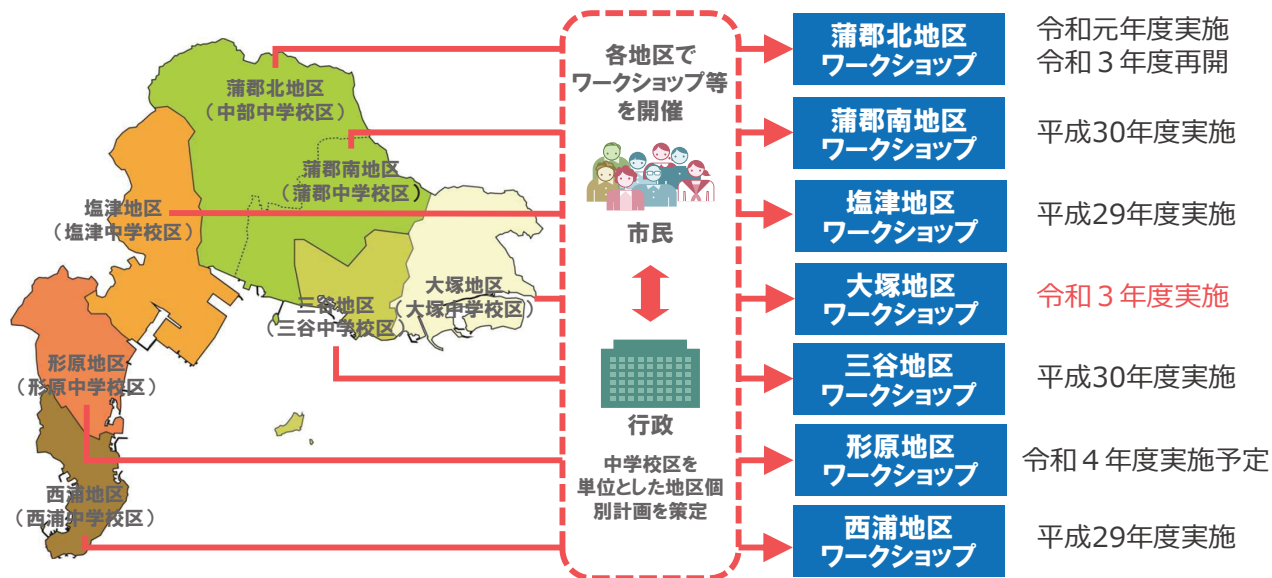
学校に多様な活動を行うことができる**交流拠点**を形成することで、コミュニティの維持・活性化を図ります。



中学校区ごとにワークショップを実施しています。

将来の地区利用型施設の配置や活用方法を示す地区個別計画を中学校区ごとに策定します。

策定にあたっては、ワークショップ等の実施により、地区の住民の皆様の考え方・アイデアを取り入れます。



大塚地区の地区利用型施設は以下の6施設です。

- 大塚小学校
- 大塚中学校
- 大塚保育園
- 大塚西保育園
- おおつか児童館
- 大塚公民館



塩津地区の皆さまからいただいたご意見（抜粋）

「子育て」の視点

- ・ 地区内の公立保育園は3歳未満児の保育や延長保育を実施していないので、不便。
- ・ 鹿島や拾石の子ども達のことを考えると、小学校は地区の中心に近い今の立地がいいと思う。

「地域・交流」の視点

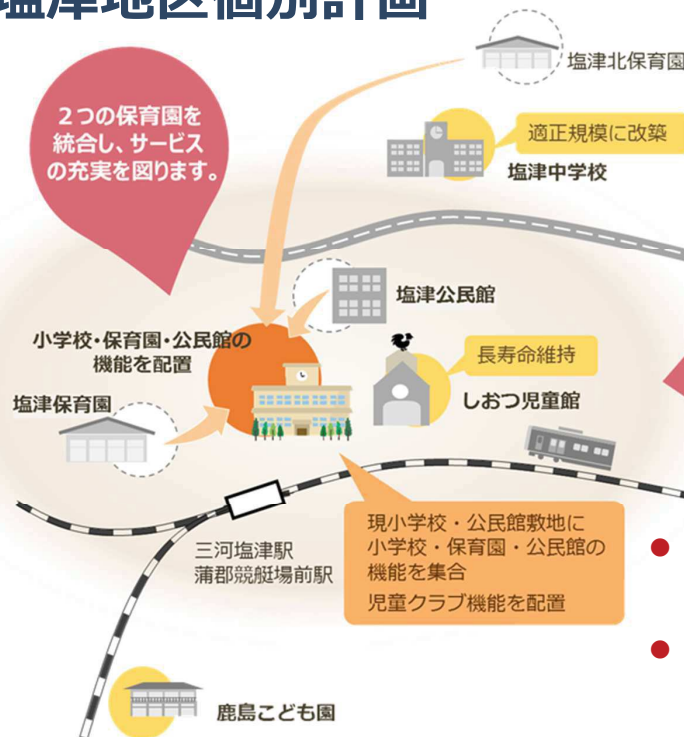
- ・ 公民館を多世代・多国籍の集まる施設にしたい。
- ・ 地域の活動で、学校の体育館やグラウンド・調理室などが使えると便利。

塩津地区個別計画

コンセプト

集まりやすい位置に
「子育て」と「交流」
の拠点をつくる

「子育て」と「交流」
の拠点をつくります。



- 塩津小学校・塩津公民館の敷地に小学校・保育園・公民館の機能を集め、「子育て」と「交流」の拠点を形成します。
- 2つの保育園を集めて、低年齢児保育と延長保育が実施可能な規模の保育園を整備します。
- 児童クラブの機能は、小学校と同じ敷地に設けます。
- 中学校は、現地で適正規模に改築します。
- 児童館は、現地で長期にわたって利用できるよう適切に維持していきます。

地区個別計画に基づく基本計画書（案）

学校の先生や保育士、公民館運営者とともに検討を行い、施設内の機能配置や管理運営方法について定める基本計画書（案）を作成しました。

子育ての視点

- ・低年齢児保育や延長保育が実施可能な施設規模、設備をもつ保育園を整備します。
- ・小学校低学年と保育園児の「共同の遊び場」を設置し、子ども達の日常的な交流を図ります。

交流の視点

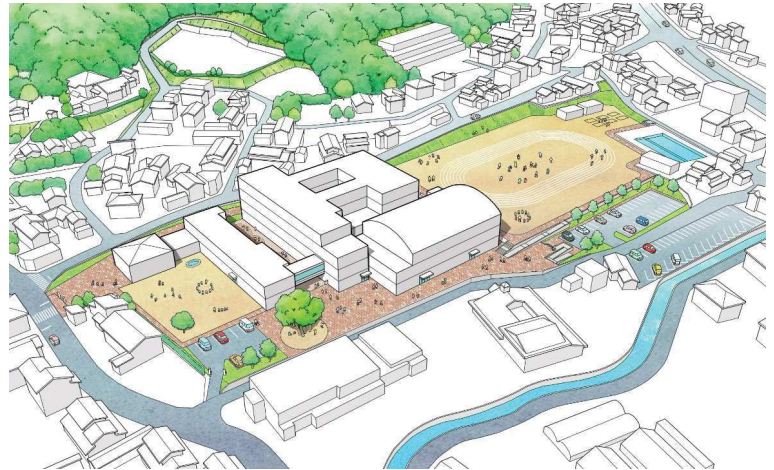
- ・各施設から利用しやすい場所に地域のイベント等を実施できる屋外広場を設置します。
- ・図書室や体育館などを相互利用可能とすることで、交流の活性化を図ります。



共同の遊び場での交流イメージ



クスノキ近くに整備される屋外広場のイメージ



塩津小学校・保育園・公民館の整備イメージ

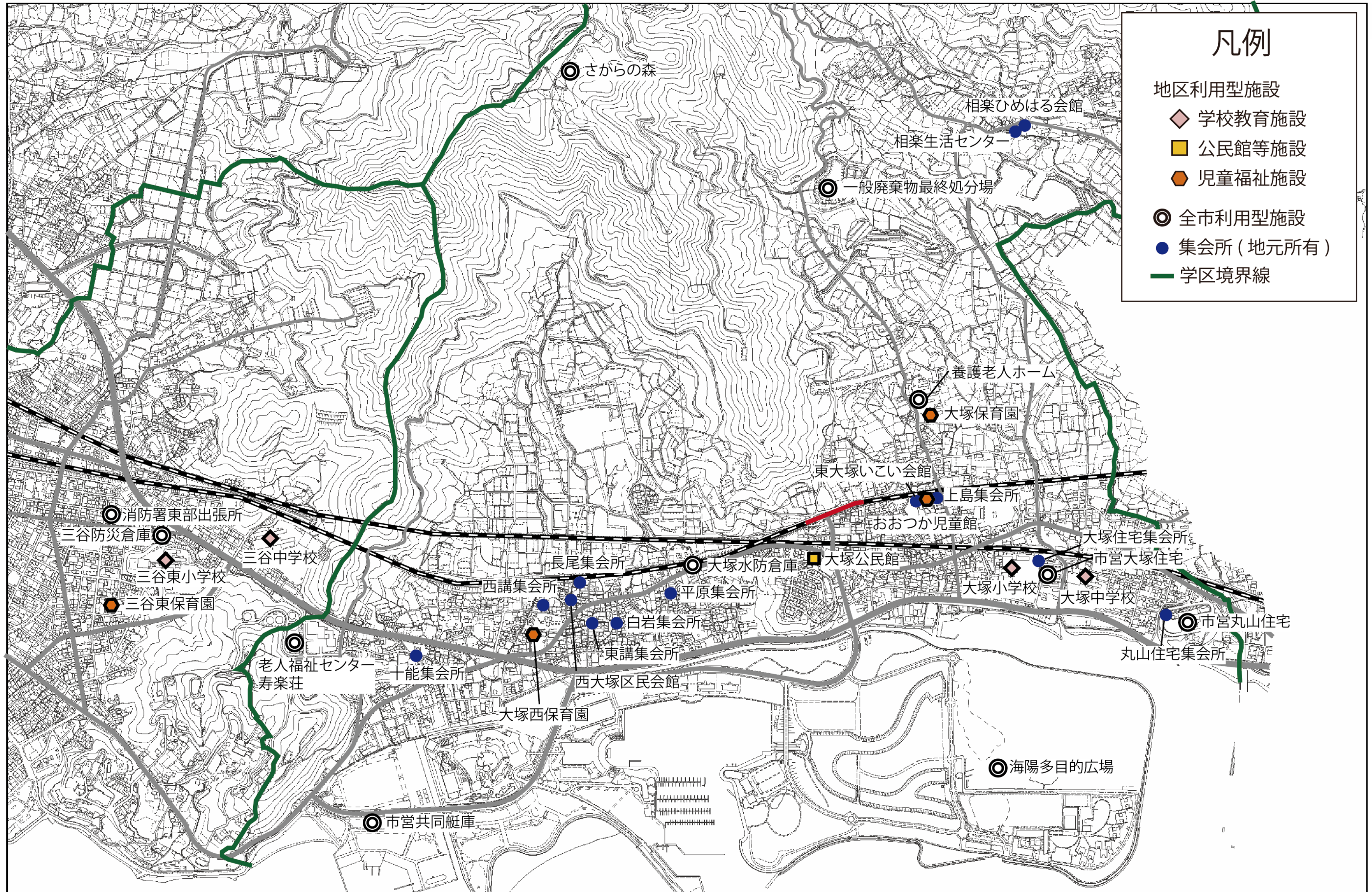
本日の検討内容

① 地区個別計画の策定に向けた検討の進め方やワークショップの進め方についてご質問やご提案はありますか？

② 大塚地区の現状と今後のまちづくりや公共施設について、どのようなことが気になっていませんか？

大塚地区の公共施設の概要

【公共施設配置図】



【地区利用型施設一覧】

施設用途	施設名称	延床面積 (㎡)	建築年度	老朽化度	避難所指定			災害の危険区域等				市の支出				市の収入 (千円)	市の負担額 (千円)	面積あたり市負担額 (円/㎡)	利用者数			平均園児・児童・生徒数 (人)	貸部屋等利用率 (%)	ハード評価 (偏差値)	ソフト評価 (偏差値)
					指定避難所	指定緊急避難場所	地域避難場所	想定震度	津波浸水	高潮浸水	土砂災害	施設に係るコスト (千円)	事業運営に係るコスト (千円)	人に係るコスト (千円)	指定管理料 (千円)				6年平均 (人)	1日あたり平均 (人/日)	面積あたり1日あたり平均 (人/㎡・日)				
小学校	大塚小学校	5,405	S31	2.8	○	○		6弱	-	-	-	22,916	8,901	2,700	0	90	34,427	6,369	-	-	-	290	-	45.0	50.5
中学校	大塚中学校	7,443	S32	3.0	○	○		6弱	-	-	-	18,178	8,031	3,967	0	90	30,085	4,042	-	-	-	162	-	47.8	54.5
保育園	大塚保育園	684	S45	3.1	○			6弱	-	-	-	5,913	12,073	43,050	0	12,541	48,495	70,946	-	-	-	65	-	43.0	51.8
	大塚西保育園	530	S47	3.1	○			6弱	-	-	-	5,233	8,177	25,633	0	5,703	33,341	62,949	-	-	-	27	-	43.9	48.7
児童館	おおつか児童館	486	H11	2.2				6弱	-	-	-	7,994	4,428	4,233	0	120	16,535	33,995	16,329	57.1	0.147	-	-	59.6	35.8
公民館	大塚公民館	742	S47	3.0			○	6弱	-	-	-	3,711	0	0	6,774	0	10,485	14,125	30,241	104.0	0.140	-	23.2	46.1	49.5

出典：令和2年度 蒲郡市公共施設白書

- ※ 複数の建物で構成されている施設の築年数は、最も建築年の古い建物をもとに掲載しています。
- ※ 「災害の危険区域等」における「想定震度」は「愛知県東海地震・東南海地震・南海地震等被害予測調査」（平成26年3月発表）に基づく被害想定を記載しています。
- ※ 「津波浸水」は愛知県指定による津波災害警戒区域における浸水深（単位：m）、「高潮浸水」は高潮浸水想定（平成26年11月発表）における浸水深（単位：m）、「土砂災害」は愛知県指定による土砂災害警戒区域と土砂災害特別警戒区域を示しています。（いずれも大塚地区内の地区利用型施設は指定されていません。）
- ※ 市の支出・収入・負担額及び利用状況の値は6カ年度（平成26年度～令和元年度）の平均値を掲載しています。

- ※ 避難所の種類について
 - 指定避難所 …被災者が避難生活をするための場所。主に小中学校の体育館がこれにあたり、地震などの大規模災害時に開設します。
 - 指定緊急避難場所…地震など災害の危険から命を守るため、一時的に避難する場所。学校の校庭や公園などが指定されています。
 - 地域避難場所 …台風などの風水害の際、少人数の方が一時的に避難するために開設する場所。公民館や児童館などが指定されています。

【各施設の概要】

施設名称	概況（特徴・課題等）
<p>大塚小学校</p>	 <ul style="list-style-type: none"> ・ 最も古い建物は昭和 31 年度に建設されている。 ・ 児童数 275 人（R3.5.1 時点） ・ 普通学級数 11（2～6 年生 2 クラス）、特別支援学級数 4。 ・ 校内に放課後児童クラブが設置されており、3 年生以上（22 人）が利用している。1～2 年生（28 人）についてはおおつか児童館にて実施。（R3.5.1 時点） ・ 指定避難所・指定緊急避難場所に指定されている。 ・ 耐震性能あり（耐震補強実施済み）。
<p>大塚中学校</p>	 <ul style="list-style-type: none"> ・ 最も古い建物は昭和 32 年度に建設されている。 ・ 生徒数 136 人（R3.5.1 現在） ・ 普通学級数 6（全学年 2 クラス）、特別支援学級数 2。 ・ 指定避難所・指定緊急避難場所に指定されている。 ・ 老朽化度 3.0 となっており、老朽化が進行していると考えられる。 ・ 耐震性能あり（耐震補強実施済み）。

施設名称	概況（特徴・課題等）
大塚保育園	 <ul style="list-style-type: none"> ・ 昭和 45 年度に建設されている。 ・ 園児数 63 人（定員 80 人）（R3.4.1 時点） ・ 低年齢児保育（2 歳児から）、延長保育（午後 6 時まで）実施。 ・ 指定避難所に指定されている。 ・ 老朽化度 3.1 となっており、老朽化が進行していると考えられる。 ・ 耐震性能あり（耐震補強実施済み）。
大塚西保育園	 <ul style="list-style-type: none"> ・ 昭和 47 年度に建設されている。 ・ 園児数 21 人（定員 60 人）（R 3 . 4 . 1 時点） ・ 3 歳児から受け入れ、延長保育実施なし。 ・ 指定避難所に指定されている。 ・ 老朽化度 3.1 となっており、老朽化が進行していると考えられる。 ・ 耐震性能あり（耐震補強実施済み）。
おおつか 児童館	 <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成 11 年度に建設されている。 ・ 0～18 歳の子どもを対象とした施設。 ・ 児童クラブが設置されており、大塚小学校の 1～2 年生（28 人）が利用している。（R 3 . 5 . 1 時点） ・ 東大塚いこい会館（地域の集会所）が併設されている。 ・ 耐震性能あり（新耐震基準による建築物）。

施設名称	概況（特徴・課題等）
大塚公民館	<div data-bbox="384 248 1445 510"> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 昭和 47 年度に建設されている ・ 老朽化度 3.0 となっており、老朽化が進行していると考えられる。 ・ 地域避難場所に指定されている。 ・ 耐震性能あり。

次回ワークショップのご案内

「第2回大塚地区まちづくりと公共施設の将来を考えるワークショップ」を以下のとおり開催いたしますので、ご参加下さいますようお願いいたします。

1 日時

令和3年9月26日（日）

午後1時30分～午後4時30分

（受付開始時刻＊オンライン：午後1時 会場：午後1時15分）

2 お願い

- ご欠席の場合や会場（大塚中学校 図書室）での参加を希望される場合は、9月17日（金）までに事務局へご連絡ください。
- 次回ワークショップの資料を郵送で事前に配布いたしますので、届きましたら資料に不足がないかご確認ください。参加の際に使用するZoomのID・パスコードも同封させていただきます。

【ワークショップ事務局】

蒲郡市総務部公共施設マネジメント課

担 当：上田・尾寄・星野

電 話：0533-66-1214

ファクス：0533-66-1183

E-mail：k-mane@city.gamagori.lg.jp